



よしだつうしん

# 吉田通信

第108号  
【2023年9月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

## ◆お金をいただくということ◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第108号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

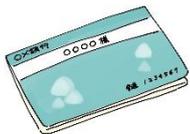
さて、働いている人たちに「皆さんの給料、そのお金は誰からもらっていますか？」と質問をすると、よく「会社からもらっています」と答えてしまう人がいます。

たしかに給料は会社の口座から振り込まれるものですが、会社がもともとお金を持っていたわけではありません。元をたどれば、お客様からお金をいただき、そして、会社の口座を経由して働いている人の口座に振り込まれるのが給料です。なので「給料、そのお金は誰からもらっていますか？」の答えは「お客様から」です。

もし、お客様からお金をいただければ、給料のもととなるお金がないわけでは、お金の降ってくるものでも、湧いてくるものでもありません。銀行から借りたとしても、それは利息を付けて返さなければならず、しかも、その利息分はお客様からいただいたお金からしか出ません。

では、お客様は何に対してお金を支払ってくれているのかと言えば、働いている人たちの仕事に対してです。正しい契約を結び、正しい仕事をしたのであれば、正しい契約書通り支払っていただくことは至極当然です。

正しい契約を結び、正しい仕事をしているのに、もし、約束通りのお支払いがないのであれば、それは私たちの仕事が軽視されていることに他なりません。もちろん、納品遅れなどこちらに否があるのであれば、そこは正した上でお金をいただかなければなりません、正しい仕事をしているのにお支払いがないのであれば、すぐにご請求をする必要があります。



お金をいただくところまでが仕事です。そこを疎かにしてしまうと、極論、会社の運営ができなくなり、他の多くのお客様に多大なご迷惑をおかけすることになります。

正しい仕事をしていながら、お金をいただくことが申し訳ないと思ってしまうメンタリティは、仕事人としては今すぐ改めなければならないと思っています。

## ◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、私の大好きな枝豆について。今年の夏は雨がほとんど降らなかったことで、これは枝豆に限ったことではないと思いますが、残念なことに実が細く、全くぷりぷりしておりません。ただ、枝豆のシーズンはまだまだ続きます。9月上旬に久しぶりに雨が降ってくれましたので、それが恵みの雨となり、本来の美味しい枝豆になってくれることを期待しております。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

### 【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）  
生年月日：昭和40年8月21日（O型）  
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）  
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋  
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）  
家族構成：妻、娘、息子



吉運堂



吉田 竹史